

令和5年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、コロナ禍が一進一退を続ける中、3月には県内最大地震度6強の福島県沖地震が発生し、相双地域や県北地域において被害が拡大し、最寄りの公共のゴミ焼却炉の故障や橋梁等インフラの破壊の発生、また、ビルメンテナンス事業者には直接的な被害として、業務ができない事業所が発生するなどの被害が発生したところであります。

このような中ではありますが、当協会は、本年、前半の事業として、感染対策を徹底し、総会、功労者表彰式及び清掃作業従事者研修会を実施するとともに、新たに、支援学校の教員等を主な対象としたクリーンセミナーや除菌清掃関係研修会を実施いたしました。なお、総会後の懇談会は見送ることし、残念ながら、依然懇談の機会の再開には至っておりません。

また、後半は、労働安全衛生大会、清掃作業従事者研修指導者講習会及び清掃奉仕活動は実施いたしました。年末の懇談会及び新年会の開催についてはやむを得ず中止決定いたしました。

さて、当協会は、公益社団法人に移行して以来、従前にも増して様々な公益活動に取り組み、県など関係団体の提案や助言を頂きながら、公共の利益の維持・向上を第一とし、ビルメンテナンス業務の社会的な責務を果たすため、各種の研修会や講習会の開催、奉仕活動など様々な活動を行ってまいりました。また、昨年度以降会員の増大にも注力してきており、引き続き増員に努力してまいりたいと考えております。

本年も、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会と連携しながら基本的な感染対策を徹底し、清掃作業従事者研修会、研修指導者講習会、貯水槽清掃作業従事者研修会、クリーンセミナーなど、コロナ渦の中でビルメンテナンス業務の品質を確保するための人材育成事業に取り組むとともに、清掃の指導に加えて勤労意欲向上に寄与するとの高い評価をいただいている「支援学校の技術講習会」へ、協会の関係者がビルクリーニングの指導講師として出向く技術指導を引き続き積極的に行ってまいります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、当協会の発展並びに皆様方にとりましても、この1年が良い年になりますよう祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

令和5年1月1日

公益社団法人福島県ビルメンテナンス協会
会長 佐藤 日出一